

秋季企画展

長崎逍遥 ～昭和の街を歩く～

2020年10月1日(木)～11月28日(土)



澤田正太郎「長崎聚落図(ながさきしゅうらくず)」 1970年/油彩画 M120号

銀行が合併し、弊館も「親和アートギャラリー」から「十八親和アートギャラリー」に名称が変わりました。これを記念して、現在、長崎をテーマにした絵画展を開催しています。

古くから日本の玄関口として中国やヨーロッパの文化を受け入れてきた長崎は、独自の文化や風俗を育み、異国情緒溢れる港街として栄えてきました。港を望む丘の上の教会堂、威風堂々とした唐寺の佇まい、斜面地に建つ家々と迷路のような坂道など、その街並や文化は多くの画家たちを魅了し作品の題材となってきました。

本展では、山本森之助、鈴木信太郎、田川憲、清水崑、澤田正太郎等による、長崎を主題とした油彩画など20点をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

澤田正太郎：1916～1996年。新国劇創設者澤田正二郎の長男として東京に生まれる。川端画学校、東京美術学校(現東京藝術大学)油画科卒業。兵役後に濱田庄司の紹介で日本民藝館に勤務。第一回一陽展より一陽会で発表を続け、1957年に第一回安井賞候補新人展に出品。全国各地の風景画を多数描き、企業カレンダーや池波正太郎の随筆「日曜日の万年筆」挿絵を担当。個展歴多数。一陽会会員。

十八親和
アートギャラリー

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)
休館日：日・月・祝日、年末年始(12/31～1/3)
※土曜日が祝日の場合は開館
長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856
西肥バス島瀬バス停から徒歩3分
JR佐世保駅から徒歩約20分

